

Versatile Application with Advanced Technology



InBody s10



About InBody

世界で活躍する高精度体成分分析装置の専門企業

株式会社インボディ・ジャパンは Makes life better の理念に基づき、体成分分析装置 InBody を中心に 健康な社会づくりへの貢献を目指しているグローバル企業です。高い精度と再現性の技術力を誇る InBody は、世界 110 か国以上の医療施設や大学・企業の研究施設などで、臨床検査・臨床試験・栄養指導・健康指導のツールとして使用されています。今まで各種ジャーナルに掲載されている、InBody のデータを利用した数千編に上る論文が、その優秀性と活用性を客観的に裏付けています。



Measurement posture

立位測定が困難な患者のため、ベッドサイド測定に特化しています。



仰臥位(左)・立位(中央)・座位(右)

仰臥位の他に立位・座位の測定を支援します。姿勢変更に伴う水分移動を安定させるため、該当の姿勢で十分な安静を取ってから測定します。

Peripheral equipment

使用時の利便性を高める様々なアクセサリーを提供します。



専用携帯バッグ

InBody専用の緩衝材が入っているので、持ち運びや移動に便利です。



USBメモリー

測定データをPCに移したり、CSVファイルでエクスポートすることができます。



バッテリーパック

院外など電源がない場所でも、長時間InBodyを使用することができます。



サーマルプリンター

簡易的に印刷ができる熱転写式プリンターで、トナーやインクが必要ありません。

Feature

半永久的に使用できるホルダー式電極は、使用方法も簡単です。



携帯を可能にしたコンパクトデザイン

付属の専用携帯バッグにInBodyを入れたままでも使用でき、測定結果をその場でも後からでも印刷することができます。

ホルダー式電極

電極は手の指先とくるぶしとかかとの間に取り付けることで、簡単に測定することができます。



付着式電極

ホルダー式電極を装着できない場合、使い捨ての付着式電極を使用することができます。



InBody Technology



統計補正を使用しないBIA技術

BIA法における統計補正とは、インピーダンス・身長・体重の実測値だけでなく、特定人種や集団で表れる体成分の傾向を、体成分を算出する公式に予め組み込むことです。統計補正が入ると、測定時に入力する年齢・性別・人種などの情報によつても体成分が変わるために、BIAが不正確と言われてきた原因として指摘されてきました。しかし、InBodyは統計補正を一切使用しておらず、同じ人ならどの国でどの性別・年齢を入力しても、ありのままの同じ体成分が算出されます。



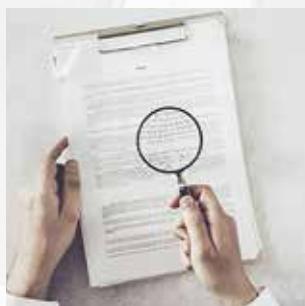
更に進化した独自の測定技術

1~1000kHzの多周波数を用いて長さと断面積の異なる右腕・左腕・体幹・右脚・左脚を分けて直接測定するDSM-BIA(Direct Segmental Multi-frequency Bioelectrical Impedance Analysis)技術。BIA法と言っても全て同じではありません。InBodyは各部位のインピーダンスを単独で測定し、正確に体成分を測定することができます。



客観的に数多く検証されている精度

体成分測定のGold Standardとして、DXA(全身・部位別の筋肉量・体脂肪量)・水中体重法(除脂肪量・体脂肪量)・重水希釈法(体水分量)・臭化ナトリウム希釈法(細胞外水分量)などがあります。このような方法とInBodyは、様々な人種の健常者・疾患者・アスリート・高齢者・小児などを対象に第三者によって検証され、その結果が40件以上の国際論文として発表されています。また、各論文を通じては、被験者に関係なく一貫して高い精度が確認できます。



世界各地から論文として共有される活用事例

InBodyは様々な条件で長年にかけて精度が検証されてきた結果、今は医療診断・臨床研究・治験などの様々な分野で活用されています。また、高い信頼性を背景に得られた成果は、世界中のジャーナルに公表されています。学術誌や学会誌で正式発表された活用事例は、常に学術専門チームがモニタリングしており、InBodyの更なる活用に向けてのレファレンスとして情報提供されます。

● InBodyに臨床公式の公開が必要ない理由

体成分を算出する臨床公式に統計補正を使用すると、公式を作った集団と体成分の傾向性が異なる症例では、その補正が誤差として働きます。そのため、従来のBIA法を用いた研究では、信頼性の限界を明確に示す方法として、臨床公式を公開することが常識でした。しかし、InBodyはその必要がなく、統計補正を排除した公式の開発過程も開発者(Dr. Cha, Harvard Medical School)の論文で公開されており、臨床活用を報告した多くの論文でレファランスとなっています。^{1,2}

● InBodyが時間をかけて体を測定する理由

新陳代謝で常に動いている体水分を安定的に測定するため、InBodyは5つの部位を6周波数の交流電流で繰り返して測定し、合計30個のインピーダンスを計測します。細かく計測されるインピーダンスは統計補正を使用しない技術の基となります。また、全てのインピーダンス情報は画面・結果用紙・CSVの何れにも提供されるので、測定結果の信頼性を測定直後は勿論、後からでも確認することができます。



測定技術の紹介はYouTubeで
見ることができます

● InBodyが精度98%など特定数値を強調しない理由

技術開発の段階で特定集団でとても高い精度が確認されたからと言って、それが全ての症例に対して適用されるわけではありません。精度は測定条件によって変わり、特に統計補正が入る場合、試験群によって補正值が誤差になることもあります。InBodyは会社主導の精度検証の結果よりも、第三者によって客観的に試験が行われ、更に厳しい審査を通過して論文として発表された結果を、本当の精度として提示します。



原理・精度に関する資料はこちら

● InBodyが圧倒的な数の研究報告を誇る理由

専門家向けの体成分分析にInBodyが採択される理由は、技術的な優位性だけではありません。当社はBIA技術開発を先導する企業として、何より研究者の方々に対する研究支援を優先として考えます。また、InBodyを用いた小さな研究報告も見逃さずにレファランスとして管理し、学会・勉強会・共同研究など様々な形で最新の情報を発信します。ホームページの専用窓口からは、全てのご質問・ご依頼に迅速に対応します。



活用事例に関する資料はこちら

1. Kichul Cha, Glenn M. Chertow, Jorge Gonzalez, J. Michael Lazarus, and Douglas W. Wilmore. Multifrequency bioelectrical impedance estimates the distribution of body water. *Journal of Applied Physiology* 1995; 79(4), 1316-1319
2. Kichul Cha, Sunyoung Shin, Cheongmin Shon, Seunghoon Choi and Douglas W. Wilmore. Evaluation of segmental bioelectrical impedance analysis for measuring muscle distribution. *J ICHPER SD-ASIA* 1997; 11-14

ID
Jane Doe身長
156.9cm年齢
51性別
女性測定日時
2024.05.04. 09:46

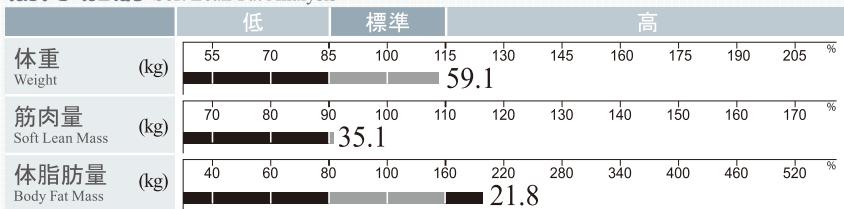
① 体成分分析

Body Composition Analysis

	測定値	体水分量	筋肉量	除脂肪量	体重
体水分量 Total Body Water	27.5 (26.3 ~ 32.1)	27.5	35.1 (33.8 ~ 41.7)	37.3 (35.8 ~ 43.7)	59.1 (43.9 ~ 59.5)
タンパク質量 Protein	7.2 (7.0 ~ 8.6)				
ミネラル量 Minerals	2.63 (2.44 ~ 2.98)	骨外ミネラル量			
体脂肪量 Body Fat Mass	21.8 (10.3 ~ 16.5)				

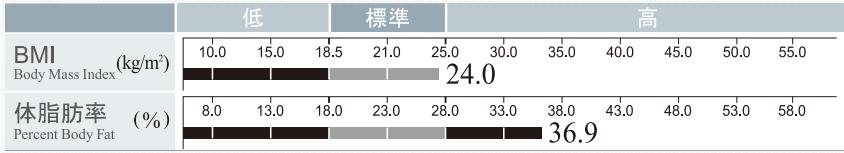
② 筋肉-脂肪

Soft Lean-Fat Analysis



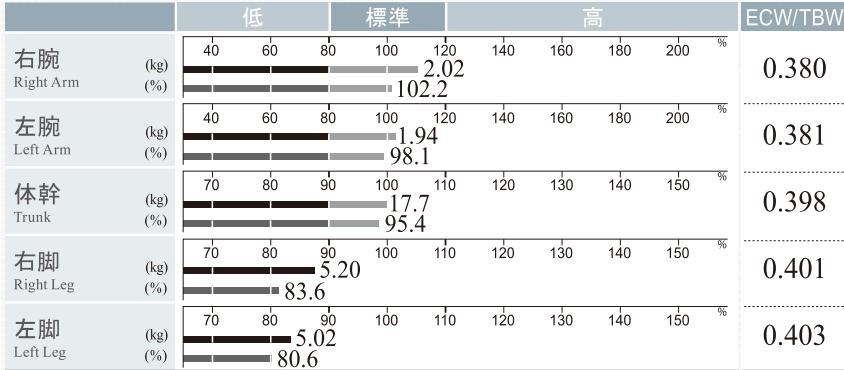
③ 肥満指標

Obesity Index Analysis



④ 部位別筋肉量

Segmental Lean Analysis



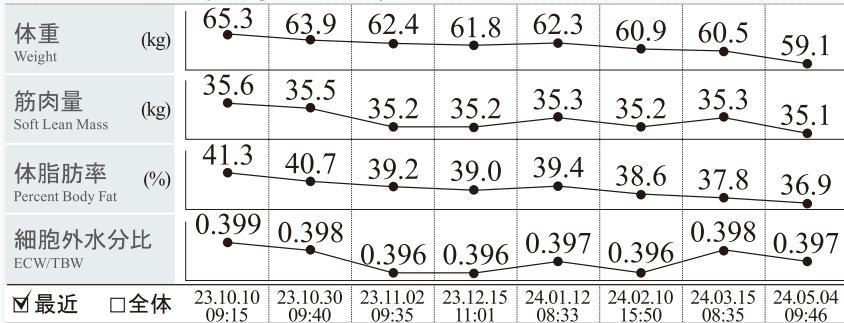
⑤ 体水分均衡

ECW/TBW Analysis



⑥ 体成分履歴

Body Composition History



⑦ 体重調節

Weight Control

適正体重	51.7 kg
体重調節	- 7.4 kg
脂肪調節	- 9.9 kg
筋肉調節	+ 2.5 kg

栄養評価

Nutrition Evaluation

タンパク質量	良好	不足
ミネラル量	良好	不足
体脂肪量	良好	不足

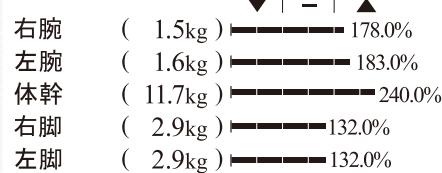
筋肉均衡

Lean Balance

上半身均衡	均衡	やや不均衡	不均衡
下半身均衡	均衡	やや不均衡	不均衡
上下均衡	均衡	やや不均衡	不均衡

⑧ 部位別体脂肪量

Segmental Fat Analysis



⑨ 部位別水分量

Segmental Body Water Analysis

右腕	1.58 L	(1.18 ~ 1.78)
左腕	1.52 L	(1.18 ~ 1.78)
体幹	13.4 L	(12.1 ~ 14.8)
右脚	4.21 L	(4.21 ~ 5.15)
左脚	4.08 L	(4.21 ~ 5.15)

⑩ 研究項目

Research Parameters

細胞内水分量	16.6 L	(16.3 ~ 19.9)
細胞外水分量	10.9 L	(10.0 ~ 12.2)
骨格筋量	19.6 kg	(19.5 ~ 23.9)
基礎代謝量	1176 kcal	
腹囲	91 cm	
骨ミネラル量	2.18 kg	(2.01 ~ 2.45)
体細胞量	23.8 kg	(23.4 ~ 28.6)
TBW/FFM	73.7 %	
除脂肪指數(FFMI)	15.2 kg/m ²	
体脂肪指數(FMI)	8.9 kg/m ²	
骨格筋指數(SMI)	5.8 kg/m ²	
骨格筋率(SMM/WT)	33.2 %	

⑪ 位相角

Whole Body Phase Angle

 $\phi(^\circ)$ 50 kHz | 4.3°

⑫ インピーダンス

Impedance

Z(Ω)	1 kHz	379.6	392.7	26.8	306.8	316.1
	5 kHz	373.1	385.4	25.7	303.0	314.1
	50 kHz	337.2	352.5	23.0	282.3	289.8
	250 kHz	307.9	322.9	20.4	263.3	272.7
	500 kHz	297.4	311.5	19.1	258.1	267.8
	1000 kHz	286.4	297.4	17.0	254.5	264.0

[Touch Type, Lying Posture]

Result Sheet

① 体成分分析

体を化学的観点から4つ（体水分・タンパク質・ミネラル・体脂肪）の成分に分けて現状を表示します。この表を見ることで、体内成分の均衡が一目で分かります。非健常者は栄養欠乏・浮腫などの症状が体成分の不均衡となって表れます。

② 筋肉・脂肪

筋肉量と体脂肪量が体重に対して適切であるかを棒グラフで表示します。身長と性別から求める標準体重を基に筋肉量・体脂肪量の標準値を定めており、グラフの形から体型を視覚化できます。



③ 肥満指標

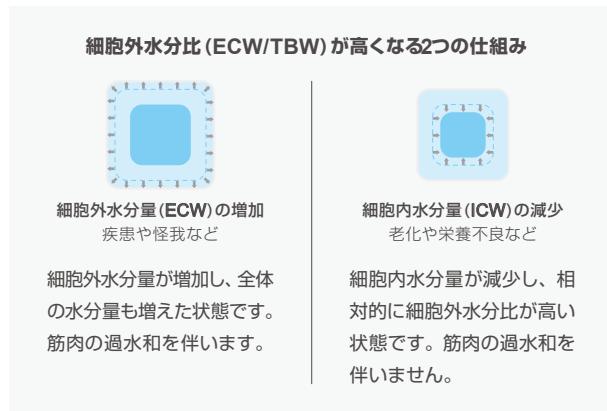
身長と体重で計算したBMIだけでは、体重が標準でも体脂肪率の高い隠れ肥満を正しく評価することができません。InBodyはBMIと体脂肪率を提供するため、総合的な肥満評価ができます。

④ 部位別筋肉量

筋肉量を四肢と体幹の部位別に測定し、標準体重と現在体重で持つべき筋肉量を基準に筋肉の発達具合をグラフで提供します。グラフからは各筋肉の発達程度と共に身体の上下・左右が均衡に発達しているかも評価できます。

⑤ 体水分均衡

細胞外水分比(ECW/TBW)は体水分量に対する細胞外水分量の割合であり、体の水分均衡を表します。健康な体は一定の水分均衡を維持しますが、疾患や栄養不良などで均衡が崩れて高くなります。



⑥ 体成分履歴

測定ID毎に直近データを8件まで表示します。体重・筋肉量・体脂肪率・細胞外水分比が確認できます。

⑦ 体重調節

体成分を考慮した適正体重と調節すべき筋肉量や体脂肪量を表示します。この数値を目標にすることで健康的で体成分の均衡が取れた体重管理が可能になります。

⑧ 部位別体脂肪量

部位別の体脂肪量を分析する項目です。グラフの長さは標準体重に対する体脂肪量の多さを表します。

⑨ 部位別水分量

水分量を四肢と体幹の部位別に測定し、標準体重を基準に各水分量が適切かどうかを提供します。体水分は筋肉の構成成分になるため、部位別筋肉量に比例します。

⑩ 研究項目

栄養評価・生活習慣指導・研究などでよく活用される項目です。装置の環境設定から別項目を選択・表示することもできます。

骨格筋指数 (SMI)

サルコペニアの診断に活用される項目で、四肢骨格筋量(kg)を身長(m)の二乗で除して計算します。アジア人における診断基準は次の通りです。¹

男性<7.0kg/m²、女性<5.7kg/m²

⑪ 位相角

50kHzの交流電流が細胞膜を通過する際に計測される抵抗（リアクタンス）を角度で表した項目で、体細胞量や細胞膜の構造的完成度に比例します。そのため、生命予後や重症度の指標として広く活用されています。

⑫ インピーダンス

各部位・周波数別のインピーダンス (Z) を表示します。インピーダンスは交流電流が体水分に沿って流れる際に発生する抵抗であり、全ての体成分結果の基になります。



結果用紙の見方はYouTubeで
見ることができます

Result Sheet Option

InBody 体水分

[InBody S10]

1 体水分分析

Body Water Composition

		低	標準	高
体水分量 (L)	70 80 90 100 110 120 130 140 150 160 170	27.5		
細胞内水分量 (L)	70 80 90 100 110 120 130 140 150 160 170	16.6		
細胞外水分量 (L)	70 80 90 100 110 120 130 140 150 160 170	10.9		

Body Water Balance

ECW/TBW Analysis

		低	標準	やや高	高
細胞外水分比	0.10 0.10 0.10 0.10 0.10 0.10 0.10 0.10 0.10 0.10 0.10	0.397			
ECW/TBW	70 80 90 100 110 120 130 140 150 160 170	0.397			

部位別体水分量

Segmental Body Water Analysis

		低	標準	高
右腕 (L)	40 50 60 70 80 110 140 160 180 210 240	1.58		
左腕 (L)	40 50 60 70 80 110 140 160 180 210 240	1.52		
体幹 (L)	70 80 90 100 110 120 130 140 150 160 170	13.4		
右脚 (L)	70 80 90 100 110 120 130 140 150 160 170	4.21		
左脚 (L)	70 80 90 100 110 120 130 140 150 160 170	4.08		

InBody

Website: www.inbody.co.jp

InBody

[InBody S10]

4 体成分分析

Body Composition Analysis

		低	標準	高
体を構成している	体水分量 (L)	34.2 (31.4 ~ 38.4)		
筋肉を作る	タンパク質 (kg)	9.4 (8.5 ~ 10.3)		
骨を丈夫にする	ミネラル (kg)	3.06 (2.91 ~ 3.55)		
余ったエネルギーを保存する	体脂肪量 (kg)	12.3 (6.7 ~ 13.4)		
体水分・タンパク質・ミネラル・体脂肪の合計	体重 (kg)	59.0 (47.5 ~ 64.3)		

筋肉・脂肪

Soft Lean-Fat Analysis

		低	標準	高
体重 (kg)	35 40 45 50 55 60 65 70 75 80 85 90 95 100 105 110 115 120 125 130 135 140 145 150 155 160 165 170 175 180 185 190 195 198 200	59.0		
筋肉量 (kg)	35 40 45 50 55 60 65 70 75 80 85 90 95 100 105 110 115 120 125 130 135 140 145 150 155 160 165 170 175 180 185 190 195 198 200	44.0		
体脂肪量 (kg)	35 40 45 50 55 60 65 70 75 80 85 90 95 100 105 110 115 120 125 130 135 140 145 150 155 160 165 170 175 180 185 190 195 198 200	12.3		

肥満指標

Obesity Index Analysis

		低	標準	高
BMI (kg/m²)	16.2 17.2 18.2 19.8 22.8 24.2 27.2 32.2 37.2 42.2 47.2 52.2 57.2 62.2 67.2 72.2 77.2 82.2 87.2 92.2 97.2 102.2 107.2 112.2 117.2 122.2 127.2 132.2 137.2 142.2 147.2 152.2 157.2 162.2	20.9		
体脂肪率 (%)	0.0 0.5 1.0 1.5 2.0 2.5 3.0 3.5 4.0 4.5 5.0 5.5 6.0 6.5 7.0 7.5 8.0 8.5 9.0 9.5 10.0 10.5 11.0 11.5 12.0 12.5 13.0 13.5 14.0 14.5 15.0 15.5 16.0 16.5 17.0 17.5 18.0 18.5 19.0 19.5 20.8	20.8		

成長曲線

Growth Graph

身長(cm): 25 ~ 50% 体重(kg): 50 ~ 75%

5 成長曲線

Growth Graph

		低	標準	高
身長 (cm)	100 105 110 115 120 125 130 135 140 145 150 155 160 165 170 175 180 185 190 195 198 200	162.5 163.8 165.7 168.0		
体重 (kg)	35 40 45 50 55 60 65 70 75 80 85 90 95 100 105 110 115 120 125 130 135 140 145 150 155 160 165 170 175 180 185 190 195 198 200	59.0		
筋肉量 (kg)	35 40 45 50 55 60 65 70 75 80 85 90 95 100 105 110 115 120 125 130 135 140 145 150 155 160 165 170 175 180 185 190 195 198 200	40.6 41.2 44.1		
体脂肪率 (%)	0.0 0.5 1.0 1.5 2.0 2.5 3.0 3.5 4.0 4.5 5.0 5.5 6.0 6.5 7.0 7.5 8.0 8.5 9.0 9.5 10.0 10.5 11.0 11.5 12.0 12.5 13.0 13.5 14.0 14.5 15.0 15.5 16.0 16.5 17.0 17.5 18.0 18.5 19.0 19.5 20.8	20.8		

体成分履歴

Body Composition History

		低	標準	高
身長 (cm)	100 105 110 115 120 125 130 135 140 145 150 155 160 165 170 175 180 185 190 195 198 200	162.5 163.8 165.7 168.0		
体重 (kg)	35 40 45 50 55 60 65 70 75 80 85 90 95 100 105 110 115 120 125 130 135 140 145 150 155 160 165 170 175 180 185 190 195 198 200	59.0		
筋肉量 (kg)	35 40 45 50 55 60 65 70 75 80 85 90 95 100 105 110 115 120 125 130 135 140 145 150 155 160 165 170 175 180 185 190 195 198 200	40.6 41.2 44.1		
体脂肪率 (%)	0.0 0.5 1.0 1.5 2.0 2.5 3.0 3.5 4.0 4.5 5.0 5.5 6.0 6.5 7.0 7.5 8.0 8.5 9.0 9.5 10.0 10.5 11.0 11.5 12.0 12.5 13.0 13.5 14.0 14.5 15.0 15.5 16.0 16.5 17.0 17.5 18.0 18.5 19.0 19.5 20.8	20.8		

体水分結果用紙

細胞内・外水分量や水分均衡を見やすく表示し、体水分を中心に体の状態を評価する結果用紙です。

1 体水分分析

細胞内・外水分量が体水分量に対して適切であるかを棒グラフで表示します。標準値を基準にグラフの形から、体水分均衡が取れているか確認できます。

2 部位別体水分均衡

体水分均衡を四肢と体幹の部位別に測定・評価し、グラフに可視化することで各部位の水分均衡を把握できます。

3 体水分履歴

直近8件までの体水分結果を折れ線グラフで表示します。体重・体水分量・細胞内水分量・細胞外水分量・細胞外水分比の数値を一目で確認でき、経時的な変化のモニタリングに役立ちます。

小児用結果用紙

成長曲線は18歳未満に対して、小児用結果用紙を選択した場合に限って印刷されます。

4 体成分分析

体を化学的観点から4つ(体水分・タンパク質・ミネラル・体脂肪)の成分に分けて現状を表示します。また、各成分の役割も簡単に説明しています。

5 肥満指標

BMIと体脂肪率で小児の肥満状態を評価できます。

・BMI(体格指数)

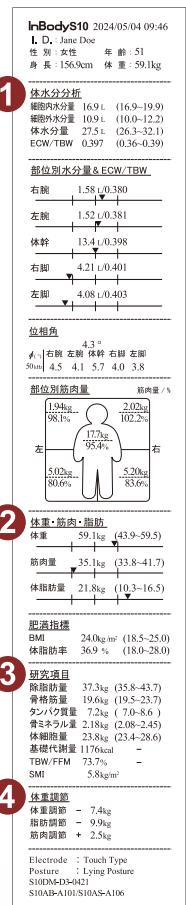
小児用結果用紙から提供される標準BMIは、WHOが定めている身長別の標準BMIを参考に設定しています。

・体脂肪率

標準体脂肪率は成人なら男性15%(10~20%)、女性23%(18~28%)ですが、小児は年齢と成長度を考慮して設定しています。

6 成長曲線

小児標準成長曲線は身長と体重を同年齢の小児と比較することで、成長程度が確認できるグラフです。



サーマル結果用紙

付属のサーマルプリンターとInBodyを接続することで、選択した項目のみを感熱紙に印字することができます。

1 体水分分析

細胞内・外水分量や体水分均衡を中心に体の状態を評価する項目です。

2 体成分分析

体成分の評価に最も広く使用される項目の測定結果を標準範囲と一緒に確認できます。

3 研究項目

体成分結果用紙の研究項目から提供される項目なら、サーマル結果用紙でも選択して印刷することができます。

4 体重調節

体成分を考慮した適正体重と調節すべき筋肉量や体脂肪量を表示します。この数値を目標にすることで健康的で体成分の均衡が取れた体重管理が可能になります。



Intelligent Analysis Option



プリンターセット

測定結果を印刷するためにレーザープリンターと専用結果用紙1000枚が付属したセットです。



プリンターデスク

キャスターが付いているので、プリンターを移動する際に便利です。



LookinBody120^{*1}

データ管理ソフトと接続することで、パソコンで測定者の個人情報や測定データの管理ができます。



専用移動用カート

InBodyを専用のカートに取り付けることで、バッグに収納する手間を省くことができます。



身長計付き体重計

折り畳み伸縮式身長計付き体重計BSM370と連動することで身長と体重測定値の転送が可能です。

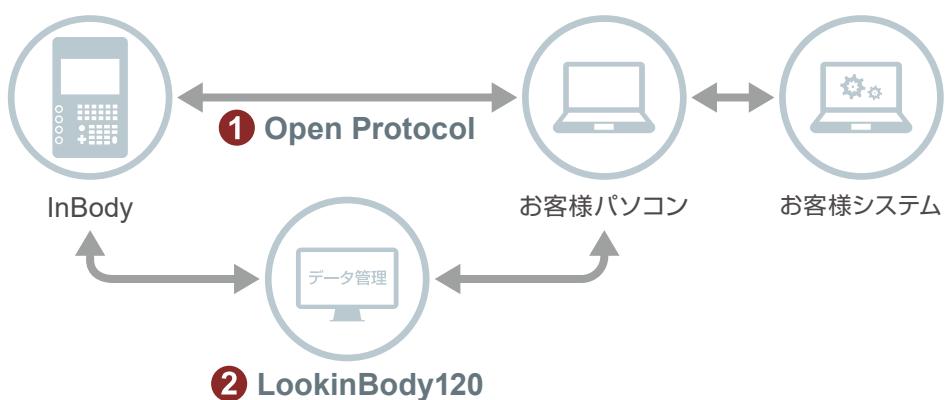


バーコードリーダー

InBody本体のUSBポートに直接接続して使用します。バーコードの読み取りでIDが自動入力されるので、入力間違の防止に便利です。

システムの仕様に応じ、様々な方法で他社システムに連動できます。

InBodyと直接のデータ連動



① InBodyと直接通信するプロトコルを提供し、システムにデータを連動する方法です。

② 専用データ管理ソフトLookinBody120(Windows用)は、InBody測定が完了すると同時に特定フォルダにCSVや結果用紙イメージを保存できます。保存されたファイルを読み込むソフトを開発し、システムにデータを連動する方法です。LookinBody120は医療用プロトコルHL7を支援します。^{*1*2}

InBody S10 Specifications

主要仕様

生体電気インピーダンス(BIA)測定項目	6種類の周波数(1kHz, 5kHz, 50kHz, 250kHz, 500kHz, 1000kHz)で、5つの部位別(右腕、左腕、体幹、右脚、左脚)にインピーダンス(Z)を測定 3種類の周波数(5kHz, 50kHz, 250kHz)で、5つの部位別(右腕、左腕、体幹、右脚、左脚)にリアクタンス(Xc)を測定 1種類の周波数(50kHz)で、全身及び5つの部位別(右腕、左腕、体幹、右脚、左脚)に位相角(θ)を測定
電極方式	8点接触式電極法/付着式電極法
測定方法	部位別直接多周波数測定法(Direct Segmental Multi-frequency Bioelectrical Impedance Analysis Method, DSM-BIA方式)
結果項目	[全身・部位別] 体水分量、細胞内水分量、細胞外水分量、細胞外水比(ECW/TBW)、筋肉量、体脂肪量 [全身] 体重(入力値)、BMI、体脂肪率、除脂肪量、タンパク質量、ミネラル量、骨ミネラル量、骨格筋量、体細胞量、基礎代謝量、水和率(TBW/FFM)、除脂肪指數(FFMI)、体脂肪指數(FMI)、骨格筋指數(SMI)、適正体重、筋肉調節、脂肪調節、体重調節 [部位別] 周囲長(首、胸部、腹部、臀部、右腕、左腕、右太もも、左太もも) [その他] 体成分履歴(8回分測定結果)、インピーダンス(部位別・周波数別)
体成分算出	統計補正(人種・性別・年齢・体型)の排除

機能仕様

ロゴ表示	結果用紙に施設名、住所、連絡先の記載が可能
結果確認	LCD画面、結果用紙、データ管理ソフト(LookinBody120)
結果用紙の種類	体成分結果用紙(専用)内蔵、体水分結果用紙(内蔵)、小児用結果用紙(内蔵)、サーマル結果用紙
測定音	測定時の進行状況を知らせる案内音の設定可能
移動・携帯性	移動用カードで室内移動、専用携帯バッグで室外移動が可能
測定姿勢	仰臥位、立位、座位
電極の種類	ホルダー式電極(Touch Type)、付着式電極(Adhesive Type)
透析モード設定	測定時点(透析前・中・後)、血管アクセス部位、麻痺部位設定可能
測定画面	カラーLCDで測定過程と測定結果を表示
結果保存	ID入力時に測定結果保存(測定合計100,000回まで保存可能)
データコピー	USBメモリーに保存可能(Excel、LookinBodyで確認可能) ※株式会社インボディ・ジャパンが推奨するUSBメモリー
データバックアップ	USBメモリーで機器に保存されたデータのバックアップと復元
プリンター接続	USBポート
オプション	プリンターセット、プリンターデスク、データ管理ソフト(LookinBody120)、移動用カード、身長計付き体重計BSM370、バーコードリーダー

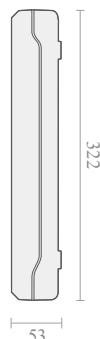
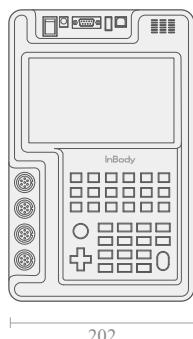
その他仕様

使用電流	100uA未満(1kHz)、500uA未満(5kHz以上)
消費電力	50VA
アダプタ	[電源入力] 100-240～、50/60Hz、0.7～1.5A [電源出力] 12V、5A
外付けバッテリーパック	[分類] リチウムイオン二次電池 [電源入力] DC12V、5A or 3.34A [電源出力] DC7.86～12.96V、5100mAh
表示画面	800×480 Touch Color LCD
入力インターフェース	タッチスクリーン、キーパッド
外部インターフェース	RS-232C×1、USB HOST×1、USB SLAVE×1
対応プリンター	株式会社インボディ・ジャパンが推奨するプリンター
装置寸法	[本体] W202×L322×H53mm [移動用カード装着時] W650×L650×H1100mm
装置重量	[本体] 2.0kg [移動用カード装着時] 21.0kg
測定時間	[メディカルモード] 60秒 [リサーチモード] 100秒
動作環境	[温度] 10～40°C [湿度] 30～75%RH [気圧] 70～106kPa
運送及び保管環境	[温度] -10～70°C [湿度] 10～80%RH [気圧] 50～106kPa(結露がないこと)
体重範囲	10～250kg
身長範囲	110～220cm
測定対象年齢	6～99歳

医療機器関連情報

販売名	ボディーコンポジションアナライザ InBody S10
分類	クラスII、管理医療機器
医療機器認証番号	第223AFBZX00130000号
一般的名称	体成分分析装置(JMDNコード:36022020)
GTINコード	8809209590044(JANコード互換)
保険点数	体液量測定 細胞外液量測定 60点

*性能改良のため仕様・デザインは予告なしで変更することがありますのでご了承ください。





外国製造業者(InBody Co., Ltd. Factory)が取得している認証



1639



ISO9001



ISO13485



ISO27001



MDSAP



InBody 株式会社インボディ・ジャパン www.inbody.co.jp

東京本社 〒136-0071 東京都江東区亀戸1-28-6 タニビル
Tel 03-5875-5780 Fax 03-5875-5781
札幌営業所 Tel 011-776-7571 Fax 011-776-7572
仙台営業所 Tel 022-302-6301 Fax 022-302-6302
横浜営業所 Tel 045-325-8996 Fax 045-325-8997
名古屋営業所 Tel 052-684-9616 Fax 052-684-9617
大阪営業所 Tel 06-6155-6937 Fax 06-6155-6938
広島営業所 Tel 082-236-7630 Fax 082-236-7631
松山営業所 Tel 089-948-9073 Fax 089-948-9074
福岡営業所 Tel 092-292-1766 Fax 092-292-1776



ご購入後のサポート体制に関する情報はこちら

InBody, LookinBodyは株式会社インボディ・ジャパンの登録商標です。